

総合計画前期基本計画有識者評価会議における主な質疑・意見等

議事 1 前期基本計画の進捗状況に関する評価（中間評価）について

ページ	委員からの質疑・意見等		事務局回答
	種別	内容	
P 4	質疑	計画に掲げられた 5 1 8 事業のうち、9 割以上が着手されるなど、前期基本計画は、順調に進んでいると受け止めた。 しかし、予算の面が見えにくく、この事業規模だと相当な支出があったのではないかと懸念される。 そこで、令和 6 年度には、おおよそどれくらいの費用がかかったのか。また、その規模感は適切な範囲に収まっているのか。	計画に登載された 5 1 8 事業の令和 6 年度決算額は、約 2 6 0 億円を少し上回る状況であるが、このうち 4 ～ 5 割は国の補助金などの財源が充てられており、全てが市の負担というわけではない。 一方、一般会計全体の歳出決算額は約 8 2 0 億円であり、その 3 割程度が計画事業という状況になる。 総合計画は、今後のまちづくりの指針であり、前期基本計画に載せた事業自体の規模感としては適正と認識しているが、計画の推進と財政状況には密接な相関関係があるものである。 本市を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化が進行し、更に物価高騰や扶助費の増加など、今後ますます厳しさを増していく。そのため、令和 7 年度を経営改革元年と位置づけ、将来に向けた持続可能な行政経営の確立を目指した取組を開始している。 来年度には後期基本計画の策定作業も始まることから、こういった視点を踏まえながら、事業の選択と集中も念頭に、本市が目指す将来都市像の実現に向け、総合計画全体の取組を進めていきたい。
P 6	質疑	防災に関する目標指標として、「市主催の防災訓練開催数」があるが、先日のカムチャツカ半島地震に伴う津波注意報時の避難指示に対する市民の避難率が日立市は低いという記事が報道されていた。 そこで、「避難指示に対する市民の避難率」を指標として目標にすることも必要ではないか。	避難指示の区域は市町村間で異なり、本市は、避難指示の区域を学区単位で行っているため、相対的に避難率が低かったものと認識している。 津波避難の場合は、海岸沿いに近い方々が実際に避難所に避難されたところであるが、一方、高台であるとか、少し遠くに離れて居住している方、更には、日中であつたことから仕事等で外出されている方たちは避難所に向かう必要はないと判断された方も多かったものと推察される。

ページ	委員からの質疑・意見等		事務局回答
	種別	内容	
			こういった事情により、実際の避難者数は少なかったものの、本当に避難しなければならない方々の避難率はかなり高かったのではないかと思う。 数値の捉え方というのは、単にその数字だけを見るのではなく、その背景にあることや示し方にも注意が必要であり、防災関連にふさわしい目標指標については、今後、調査・研究を重ねていきたい。
P 6	意見	「市主催の防災訓練開催数」が目標指標となっていることに関しては、訓練を実施していくことは、活動指標としてみるものであり、訓練の実施をしたことでどのような成果があったのかを測るアウトカム指標を設定する必要があるのではないか。 避難指示発令からの避難時間といったようなものも目標としてよいと考える。	—

議事 2 ひたち成長戦略プランの取組状況について

ページ	委員からの質疑・意見		事務局回答
	種別	内容	
P 8	質疑	教育の指標については、「授業の内容がよく分かる割合」といった、インプットできたかどうかを確認する指標のみで、それを受けたアウトプットの指標がないと実際の成果につながる部分が見えず、有用な指標にならないのではないか。	個別計画である教育振興計画の中でも、目標指標として「授業の内容がよく分かる割合」といった指標を用いている。これは本市のみの傾向ではなく、全国学力テストの関係でほとんどの市町村で設定している状況にある。 なお、インプットだけでなく子どもたちからのアウトプットも含めた目標指標については、子どもたちが豊かな学びを進めていく中で必要と考えられるので、次期後期基本計画の策定の際の参考とさせていただきたい。

ページ	委員からの質疑・意見		事務局回答
	種別	内容	
P 8	意見	電子黒板については特別支援学級にも整備を進めてほしい。	電子黒板については、デジタル教科書を使った授業で、効果的な活用がされていると伺っている。 今回ご意見のあった特別支援学級への設置については、担当の教育委員会と情報を共有させていただく。
P12	質疑	雇用センター多賀についてであるが、ハローワークとの線引き、違いはどこにあるのか。 採用につながった件数の２９件というのも少ない気がするので、ＰＲをしていってもらいたい。	どちらも就職支援を行う施設であり、明確な違いはないが、雇用センター多賀は、市が運営主体として、よりきめ細やかな相談を受け、相談者に寄り添い、就職につなげていくことを目指して運営を進めている。 本市は、社会減が大きな課題であり、市外へ転出される方々の多くは、仕事を理由に挙げる傾向にある。ものづくりのまちとして、中小企業も多いが、雇用のミスマッチも発生している。 なお、採用につながったのは２９件であるが、その前段となる紹介状発行は９８件であった。 また、来訪者自体は１，６００人を超えており、雇用センター自体の認知は浸透していると思う。 引き続きＰＲに努め、実際の就業に結びつけていけるよう工夫していきたい。
P12	意見	雇用の創出、企業誘致の面で日立南太田ＩＣ周辺の産業団地整備が進んでいくと思う。 一方で、市内企業に従事する若い社員からは、市内に若者が集まって遊べるような場所がないという話を聞く。ヒタチエはできたが、ショッピングモールがあったらいいといった声も多い。	若者が集える場がないというご意見はこれまでもたくさんいただいている。本年３月には第３期となる総合戦略も策定し、引き続き若者や女性に魅力あるまちづくりを進めていく必要がある。 なお、ショッピングモール的な部分は、民間事業者の事業部分と公共としてできることの中で進めてきた部分もあるが、やはり大規模な施設などは、民間事業者も進出には商圈など様々な要因も絡んでくるところであり、単独での進出は難しい状況にある。 しかしながら、にぎわい創出は、持続可能なまちづくり中で、大きな要素になるものであり、今後も引き続き検討していきたい。

ページ	委員からの質疑・意見		事務局回答
	種別	内容	
P12	意見	関連してであるが、今後、学校再編が進みその跡地がどんどん出てくると思う。 その利活用の例示の一つとして、東小沢小跡地には、久慈川サイクリングロードの休憩所を整備してほしい。サイクリングをする人が多く集まる場所になると思う。	学校跡地の利活用については、建物の老朽化や敷地の借地の取扱いなど、様々な課題を含んでいるところである。 その活用に当たっては、今後の統廃合状況も含め、総合的に市全体の計画の中で慎重に検討を進めていくことになる。
P19	質問	パンダ誘致についてであるが、まだ来ると決まったわけではないものの、かみね動物園周辺の道路整備等、検討していることはあるのか。 お盆休みに、夜の動物園が開催されていた期間中、駐車場がいっぱいとなり、周辺道路に交通渋滞が発生していた。 パンダ誘致には課題が多いと感じている。	夜の動物園の際の渋滞については、天候の影響もあって週の後半に利用者の方が集中してしまい、近隣にお住まいの方にご迷惑をおかけした。これらの影響を踏まえ、今後の開催方法等を検討している。 パンダの誘致については、県と協力し進めているところであるが、交通面での課題は多く、道路整備やパークアンドライドの導入なども含め、様々な検討が必要である。誘致の進捗状況をみながら、必要な準備を今後進めていきたい。
P20	意見	ひたちシーサイドマラソンについて、県内の他のフルマラソンに比べると参加者が少なく、ぜひ参加者増に向けて工夫をしてほしい。 コースの特徴として、他のマラソンに比べ、過酷な坂も多く、おそらく日本で3番目ぐらいに厳しい。そういった過酷な特徴を売りにして、積極的にPRしながら参加者増につなげていってほしい。 なお、日程的には、県内市町村のマラソン大会と近いこともあり、12月実施も含めて検討してほしい。	多くの皆様のご支援、ご協力のもと、ひたちシーサイドマラソンが開催できたことに改めて感謝申し上げる。 開催に至るまで、コースの認定が1つの大きなハードルであり、様々な調整を踏まえての開催となった。 今年は2年目ということで、昨年と同じコース・日程での開催で準備を進めているが、委員の皆さまからご意見いただいたように、コースの状況や他のマラソンとの日程の調整等の課題は認識をしている。そういった点も踏まえ、今後検討していくので、引き続きご支援をお願いしたい。 なお、申し込みは9月7日までとなっているが、今のところ昨年とほぼ同じようなペースであり、4千人台を目標に引き続き募っているところである。

ページ	委員からの質疑・意見		事務局回答
	種別	内容	
P20	意見	スポーツ・文化を活用したまちづくりの面でシーサイドマラソンは大きなイベントとして進んでいくと思うが、トレイルランの普及及び大会の継続をしてほしい。	トレイルランについては、民間主体での実施に市が支援している形となっている。昨年度は寒い季節での開催であったが、多くの方に参加をいただき、好評であった。日立市のみならず、県北振興に寄与する取組であり、今年度の開催についても、市としてしっかり支援をしていきたい。 なお、県としても常陸国ロングトレイルの普及に力を入れており、そういった中でうまくこのイベントも位置付けができていければと考えている。
全体	意見	来年度には後期基本計画の策定も控えており、この評価会議を閉じた後でも各委員から意見を上げていただきたい。 なお、前期基本計画の目標指標は、全体的に活動量（アウトプット）指標が多く、成果（アウトカム）指標が少ないと感じる。 例えば、県の総合計画には「幸福度指標」や「県民所得」があるが、県内の各市町村においても、計画に反映されていないと感じている。 本市においては、後期基本計画の策定時に目標指標も見直すと思うので、ぜひ導入を検討してほしい。	—

以 上